



一隅を照らそう
2月号

313号
毎月28日発行
E-mail: info@tougakuin.jp

お寺の標語

住職 中島 有淳

先日、朝参りで常連のY氏に「ハイッ住職に...」と一枚のコピーを手渡されました。見るとタイトルが「2019 お寺の標語大賞」とあり、いくつかの標語が氏のメモ書きに記してありました。私は思わずニンマリとしたものです。何故なら當山でも以前から女坂の入り口にある掲示板に、私の好きな標語をしたためているからです。それでも月二回となると毎回の標語も段々とネタが尽きて悪戦苦闘をしていたのです。そんな事情を知ってかY氏は、励ましのつもりで私にくれたことでした。感謝です。

私は長い文章は苦手で、短い文、特に標語のように無駄を省き端的に表現される文句に魅せられ感じ入ります。それは割とその時の気持ちに左右されたりしますが、有名人の言葉というよりは仏教の教えを含んだ標語が気に入っているのです。ですから戴いたコピーにはとても興味深々でした。

お寺の標語大賞

○大賞 衆生は 不安よな
阿弥陀仏 動きます

○仏教伝道協会賞

お釈迦さまを嫌いな人もいた
「誰にも嫌われたくない」なんて
思わなくてよい

○中外日報賞(注:宗教の月刊紙)

愚かな愚かな私です
それさえ知らぬ私です

○仏教タイムス賞(注:宗教の週刊紙)

また失敗 またまた失敗
だから何!

○彼岸大賞(?)

ほんとうの いちばん深い闇は
わかっていて 思いです

如何でしょうか。一口に標語といってもいろいろな考え方に基づいて凝縮された表現です。宗教の世界を彩る世界は受け手の感性に呼応します。ですから言葉は吟味された世界です。その意味だけでなく行間にも意味があり、深さを楽しめるのです。ちなみに當山の一月後半の掲示板の文句は

自力と他力を
合わせて
全力です

.....でした。

令和2年 厄年表 (数え年)	
男	女
25歳 平成8年生まれ	19歳 平成14年生まれ
41歳(前厄) 昭和55年生まれ	32歳(前厄) 平成元年生まれ
42歳(本厄) 昭和54年生まれ	33歳(本厄) 昭和63年生まれ
43歳(後厄) 昭和53年生まれ	34歳(後厄) 昭和62年生まれ
61歳 昭和35年生まれ	61歳 昭和35年生まれ

みんなで ♪ 歌いましょう

アコーディオンの音色で、小さいころ口ずさんだ歌を一緒に歌いませんが、無料、どなた様もお気軽に。(遊)
*2/8 薬師如来法要終了後 3時頃~広間にて、40分ほど

ツイッターにて、神木山報のバックナンバーを掲載。
1/28現在、創刊号~2号まで公開中。毎週更新予定。

行事案内

- 節分会 二月三日午後二時
- 息災護摩札(志納金一体 五千元)
 - 厄除護摩札(志納金一体 五千元)
 - ◇自動車交通安全お守り(志納金一体 三千元)
 - 盗難除お札 ○火防お札(各一体 千円)
 - 毎月八日 午後二時
薬師如来祈禱会 観音経読誦
 - 毎月十二日 午後二時
智泉院法要日(於:日本橋茅場町)
 - 毎月十八日 午後二時
観音経読誦法要(於:神木観音堂)
 - 毎月二十八日 午後二時
不動明王護摩供修行
- *毎朝 六時より公開で朝のお勤めをしております
ご都合のよろしい時には、ご一緒にどうぞ

あとがき

○比叡山から発信する今年の言葉は『「一々劣不借」(自らの劣を惜しまないで人々の思いやりの行に努める)』という、伝教大師の「忘己利他」のご精神を強調したもの。大師の一二〇〇年大遠忌に向けて、本年も専心に努めて参りたい、と。

○中国・武漢市を中心に新型コロナウイルスが発生。肺炎感染者がどんどん広がって心配です。

○横綱不在だった大相撲初場所はまさに混戦でした。小兵の炎鵬の活躍で敗けた力士は、ショックで調子を崩したようです。平幕で幕尻の徳勝龍(33)が初優勝。この快挙は二十年振り。

○歴史ある大きな伽藍のお寺を見ると、維持が大変だなとつくづく思います。人を育て、建物を管理し、教えを伝えていくことの大切な使命と困難と苦勞を想います。伝教大師は『我が志を述べよ』と述べられました。「道心」と「志」は大切です。

○二月三日の節分を過ぎると春が一斉にやってきます。各地の行事も「歳時記」を開くと、とても賑やかでうきうきしてきます。

折りふしのはな

ノースポール

一見すると
マーガレットの花のように
見えますが
葉っぱがチョッと違います
冬晴れの空の下
寒さをものともせず
歓声をあげながら
元気に 無邪気に走り回る
幼子らを
ノースポールの花が
やさしく見守ります (遊)



▲月例「止観(坐禅)会」...2月は15日(土)10:00-11:00(500円)
●東京五輪開会147日前に「AKIRA」を読む...2月28日(金)※時間未定